

様式3号

契 約 の 内 容

施 設 名 福島地方環境事務所

工 事 名	平成30年度中間貯蔵施設の受入分別処理工事（大熊町）
契 約 年 月 日	平成31年1月9日
契 約 方 法	随意契約
工 事 場 所	福島県双葉郡大熊町地内
工 事 種 別	土木工事
契 約 業 者 名	清水・竹中土木・東洋特定建設工事共同企業体
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区京橋二丁目16番1-10号
工 期 （ 自 ）	平成31年1月10日
工 期 （ 至 ）	平成33年3月31日
工 事 概 要	本工事は、大熊町内において、除去土壌等の安全かつ確実な受入・分別処理の実現に必要と考えられる設備（荷下ろし、破袋、一次分別、二次分別）及び個々の設備を有機的に運営するシステム全体を構築し、安全かつ確実な受入・分別処理を行うとともに、分別土壌保管場まで処理土壌を運搬するものである。
契 約 金 額	15,375,960,000円（消費税込）
予 定 価 格 （随意契約の場合）	15,395,146,413円（消費税込）

随意契約理由書

施設名：福島地方環境事務所

工 事 名	平成 3 0 年度中間貯蔵施設の受入分別処理工事(大熊町)
契約業者名	清水・竹中土木・東洋特定建設工事共同企業体 代表者 清水建設株式会社
随意契約理由	<p>中間貯蔵施設における除去土壌等の受入・分別施設は、放射性物質を含む様々な性状をした除去土壌等が大量に搬入され、それらを効率的かつ確実に処理するとともに、作業員の被ばくをできる限り低減する分別処理設備を有している必要がある。</p> <p>この特殊性に鑑み、大熊町大字夫沢地内に所在する受入・分別施設は、清水・竹中土木・東洋特定建設工事共同企業体が、「平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（大熊町）」において独自の技術を用いて設置したものである。</p> <p>この独自の技術は「被処理物を収容したフレキシブルコンテナバッグなどの袋体を効率よく連続的に（大量に）解袋して被処理物を取り出すことを可能とする解袋装置」であり、受入・分別処理の初期の段階において必ず発生する大型土嚢の破袋に不可欠な特殊技術であり、清水建設株式会社、第一カッター興業株式会社、環テック株式会社が、平成 26 年 7 月 31 日に特許申請し、清水建設株式会社が運営する工事以外の第三者に実施許諾を行わないとするものである。</p> <p>さらに、当該施設は、発注者が定める「要求水準書」の「荷下ろし設備」、「破袋設備」、「一次分別設備」、「2 次分別設備（改質処理、分別処理）」、「濃度分別設備」の各段階の設備について、空間的制約の下で相互の特性を組み合わせることで施設全体の要求性能（140t/h）を担保している施設であり、「破袋設備」に当たる前記の特殊技術を組み替えた場合には、要求性能の実効性が担保されない。</p> <p>このため本施設を利用して、除去土壌の受入・分別処理を実施することが出来る者は、清水・竹中土木・東洋特定建設工事共同企業体に限られる。</p> <p>また、別途設備の整備を行うとした場合、多額の追加費用が発生するとともに、大幅な工期の遅れが生じ、復興事業の進捗に多大な影響を及ぼす結果となる。</p> <p>以上のことから、会計法第 29 条の 3 第 4 項及び国の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令第 13 条第 1 項により、競争に付することなく、清水・竹中土木・東洋特定建設工事共同企業体と随意契約を締結するものである。</p>